常設展示 平野富山（ひらの ふざん） ―清水が生んだ彩色木彫の名匠

於：静岡市清水文化会館マリナート ※写真撮影はご遠慮下さい。

テーマ：平野富山と故郷清水

令和８年11月～令和９年２月 ※月曜休館

今期は、平野富山の故郷である清水にゆかりある作品に注目します。富山は、17歳で現在の静岡市清水区を離れて以降、東京に居を構え活動しましたが、昭和50年代半ば頃より清水市江尻尋常高等小学校（現・静岡市立清水江尻小学校）時代の同窓生らの集まりである戌亥（いぬい）会のメンバーが富山を顕彰しようと動き出しました。同会の働きかけにより、旧清水市のみならず清水銀行の当時の頭取佐々木哲雄氏らが富山を力強く支援していくことになります。昭和58年には佐々木氏の音頭により、本展出品の《羽衣舞》（no.4）が清水銀行・静岡銀行・駿河銀行の３行で共同購入され、清水市新庁舎落成記念として同市に寄贈されます。故郷にゆかりのある能楽「羽衣」を主題とした本作は、緩急織りなす能舞台の空気をまとった富山の代表作と言えます。

またこの年、約600名の会員を擁する平野富山後援会が発足し、会長に佐々木氏が就任しました。会の顧問には当時の清水市長のほか教育長、市議会議長らが名を連ねるなど、まさに市を挙げての支援体制でした。

さて、現在の静岡市内には清水区を中心に富山が手がけた計12点のブロンズ彫刻が設置されています。区のメインロードであるさつき通りや市内の高等学校などにも置かれており、本展ではそれらと同型の《しづか》（no.5）《光明》（no.6）を紹介します。またマリナート東側道路沿いでもブロンズ彫刻《白砂》《青松》を見ることができます。あわせてお楽しみください。

【出品リスト】

	作家名	作品名	制作年	材質	所蔵
1	平野富山	孫	昭和52年~平成元年頃	木、彩色	静岡市
2	平野富山	瑞果喜猿	昭和52年~平成元年頃	木、彩色	静岡市
3	平野富山	扇面散らし文様欄間	不詳	木、彩色	静岡市
4	平野富山	羽衣舞	昭和58年	木、彩色	静岡市
5	平野富山	しづか ※原型は第6回改組日展出品作	昭和49年 ※FRPは没後制作	FRP	静岡市
6	平野富山	光明 ※原型は第85回太平洋展出品作	平成元年 ※FRPは没後制作	FRP	静岡市